

2010 SPEA FIMトライアル世界選手権シリーズ 第3戦

2010

2days

**日本グランプリ****6/5SAT.・6SUN.****～日本グランプリでの“快拳”達成は絶対に見逃せない!!～  
藤波貴久30歳、“30勝”およびタイトル奪還への挑戦****2年ぶり優勝**

藤波貴久(ホンダ)が日本人として初めてトライアル世界チャンピオンを獲得したのは2004年、24歳のときのことだった。それから6年がたち、今年には30歳となった藤波だが、「ケガをした場合の回復は以前よりも時間がかかるようになったが、体力・技術ともにチャンピオンになったころよりも上がっていると思う」と力強く語る。その言葉を実証するかのように、去る4月25日にポルトガルで行われた「2010 SPEA FIM トライアル世界選手権」シリーズ第2戦・2日目に、ついに待望の2年ぶり優勝を獲得。通算29勝目をゲットして、ポイントランキングは現在3位につけている。同1位トニー・ボウ(モンテッサホンダ)とは7ポイント差、同2位アダム・ラガ(ガスガス)とは1ポイント差に迫っている。つまり、ランキング2位進出はもちろん、逆転トップも夢ではない状況である。

**夢の“30勝”目前**

こうして迎える第3戦日本グランプリ(6月5・6日/ツインリンクもてぎ)は2日制で開催され、土曜日と日曜日の各日で決勝が行われる。早ければ5日(土)に藤波が勝って「30歳にして“30勝”」の快拳が達成される可能性がある。ちなみに世界トップ3のライダーは現在、ボウ27勝、ラガ28勝、そして藤波29勝と3名とも“30勝”目前に迫っている。世界6位ドギー・ランプキン(ベータ)の99勝は別格としても、同4位ジェロニ・ファハルド(ベータ)の1勝、同5位アルベルト・カベスタニー(シェルコ)の7勝とは比べるまでもなく、未勝利のまま現役を去るライダーがほとんどであり1勝するだけでも困難な世界選手権において“30勝”はまさに夢のような快拳ともいえるのだ。

**1番スタート**

ただし、日本GP1日目の藤波は、世界選手権クラスの中で1番スタートになる。今年からの新ルールによって、前回優勝者である藤波が最初に出走しなければならない。先に競技を始めているユースクラスやジュニアクラスのライダーたちがセクション(採点区間)の土の部分ではタイヤの跡をつけたり、岩の上に泥がのって滑りやすくなってしまいうこともある。やはり今年からの新ルールでセクションの下見が禁止されているため、自分が走りたい走行ラインの上に邪魔な石が落ちていることもあるだろう。もうひとつの新ルールで今年ひとつのセクションを走る持ち時間がこれまでの1分30秒から1分に短縮されたため、時間的な制限も厳しくなっている。

こうした中、トップライダーの中で最初に走るのは不利といえる。たとえば先に走ったライダーが失敗して減点5になった場合、後から走るライバルたちは先に走ったライダーの失敗を参考にしてより少ない減点でセクションをこなす作戦を立てやすくなるわけである。実際、土のセクションも多く、土が掘れて路面状態が悪化しやすいこともある。だが逆に、そうした困難をも乗り越えてクリーン(減点0)で走破したならば、後に走るライバルたちにプレッシャーをかけることもできる。ここは観客の皆さまにとっても、応援のしがいがあるところだろう。

**母国グランプリ**

とりわけ母国グランプリでの藤波は、日本のファンの声援をうけて、毎年大きな力を発揮している。昨年日本GP2日目、藤波がボウと同点ながらもクリーン差で惜しくも4年ぶりの母国優勝を逃したことは記憶に新しい。今年こそ、日本でも表彰台のまん中に復活して会心の笑顔を見せて欲しいところだ。

そしてもちろん、タイトル争いにも大いに注目したい。ここまでの3レース(注・第1戦は1日制、第2戦は2日制だったため計3日=3レースが行われた)で藤波は4位、4位、1位となっている。一方、王者ボウは1位、1位、4位と、圧倒的な強さを見せながらも表彰台を逃すこともある。3つの新ルールが導入された今年のレース展開は、より予断を許さない。それでもファンとしては、藤波の2日間連勝とランキングトップという最高の結果を願わずにはいられないところだろう。

## 6年ぶりの王座

ともあれ今年の藤波は、これまで以上にチャンピオン奪還に燃えている。非常に難しいことではあるが、6年ぶりの王座に返り咲くことができたならば、それは36年の歴史を持つトライアル世界選手権においても前代未聞の記録になる。これまでは89年と93年にそれぞれ、2年ぶりにタイトル奪還したジョルディ・タレスの記録が最高であるからだ。

そしてまた、04年に最初のチャンピオンは2ストローク・マシンで獲得した藤波。翌05年は新たに開発されたばかりで重量的にも不利と思われる4ストローク・マシンに乗りかえて苦戦したが、2ストロークのままだったならばその後も藤波がチャンピオンを取り続けたらう…とも言われている。しかし、環境問題に対して世界的に関心が高まっている今こそ、よりエコな4ストロークで戦うことに大きな意味がある。現在世界選手権を戦っている4メーカーの中でも唯一の4ストロークで、藤波は王座奪回できるか？ 実現すれば、2ストロークと4ストロークの両方でチャンピオンとなり、これもまたギネス級の記録といえるかもしれない。

世界挑戦15年目。この夏には2人目の娘が誕生するため、「1人目の娘のときのようにチャンピオン・ベビーにしてあげたい」という親心も、王座奪還へのパワーになっている。今年の藤波は、昨年日本GPでボウと優勝を争い互角に近い戦いを見せて大観衆を沸かせた、それ以上の興奮をきっと味わわせてくれるに違いない。

## 藤波貴久、栄光の“30勝”への道のり



1997年の第10戦(最終戦)ドイツGP 2日目、トライアル世界選手権・挑戦2年目にして初優勝を獲得した藤波(当時17歳)

2003年の第4戦日本GP前日、この年に藤波の勝利を祈願して誕生した「フジガス・カツカレー」(※今年も日本GP大会期間中の2日間だけツイリンクもてぎパドック内の



レストランで限定販売される)をほおぼる藤波。そして大会1日目通算9勝目を獲得。通算10勝(同年第6戦スペインGP1日目に達成)まであと一歩に迫った藤波(当時23歳)



2004年の第9戦スペインGPで通算20勝目をマークした藤波の走り(当時24歳)



2004年の第10戦(最終戦)スイスGPで日本人初トライアル世界チャンピオン獲得の快挙を成し遂げた藤波



2005年の第3戦日本GP1日目、4ストローク・マシンに乗りかえて3戦目にして優勝(通算21勝目)、30勝に向けて第一歩を踏み出した藤波

# 大会中、そして翌日のイベントのご案内

## ■ライダーサイン会を開催

世界選手権ワールドクラスに参戦するトップライダー8名によるサイン会を開催！！  
日本GPでは初めてとなる公式サイン会を開催します。参加費は無料で時間内なら何回でもサインの列に並ぶことができます。

開催日時： 6月5日(土)17:30-18:00(予定)  
場 所： 中央エントランス特設会場  
参 加 費： 無料  
参加方法： 当日自由参加  
(事前申込み、抽選などはございません。)



藤波選手

トニー・ボウ選手

## ■2010 フジガス“勝”カレー

茂木特産の“エゴマ”が入った『やわらか棒とんかつ』を食材に使用！！  
2010 年は棒(ボウ)とんかつで、ライバル“トニー・ボウ(棒)選手にも勝つ！！”という熱い思いが込められています。ぜひ、会場でお召し上がりください。

販売期間： 6月5日(土)～6日(日)  
各日限定200食  
料 金： ￥950  
販売場所： グランツーリスモ・カフェ(パドック)  
グランツーリスモ仮設売店(中央エントランス)



## ■After WCT トライアルスクール

藤波貴久選手、小川友幸選手、本多元治選手の豪華メンバー(予定)を特別講師に迎え、  
日本GP翌日、6月7日(月)にツインリンクもてぎでトライアルスクールを開催！！

開催日： 6月7日(月) 決勝日翌日(9:30~16:30)  
参加料： 受講者 13,500 円、見学同伴者 3,000 円  
定 員： 40名〔申込締切り6月2日(水)まで〕

参加申込先： After WCT トライアルスクール事務局  
(アクティブ・セーフティー・トレーニングセンター内)

TEL:0285-64-0100

ツインリンクもてぎHP [http://www.twinring.jp/wctrial/after\\_wct/](http://www.twinring.jp/wctrial/after_wct/)



## フジガスカレーの歩み 2003年～2010年

2000年に日本初開催となったトライアル世界選手権。初年度から日本のエースとして活躍する藤波貴久選手に世界チャンピオンの期待が高まった2003年、「藤波選手をみんなで応援しよう！！」というキャンペーンの一つとしてツインリンクもてぎのシェフと販売スタッフが一丸となり開発したのが「フジガスカレー」です。

藤波選手の好物であるカツカレーをセクションを見立てた盛り付けで毎回テーマを決めてアレンジしています。また、セクションを駆け登るイメージをより高めるために毎年、藤波選手の走行シーンを“フジガス旗”として飾りつけしています。

もちろん、藤波選手ご本人に毎年試食をしていただき、フジガスカレーは毎年恒例の藤波選手公認メニューとなっております。

そして、ファンの皆さんにもこのフジガスカレーを毎年の楽しみにしていただけるようになりました。今年も2010年版のフジガスカレーを準備しております。ぜひ、皆さんでフジガスカレーをお召し上がりいただき、藤波選手に声援を送ってください。

2003年



### 藤波勝つカレー

岩山に見立てて盛り付けられた2つのごはんが特徴  
大きなカツが連なるように並べられ巨大な岩場のセクションをイメージした  
初代フジガス勝つカレー。まだトライアル競技が日本で広まっていないこの当時、  
少しでもセクションのイメージを表現しようとしたシェフの気持ちが詰まっています。

2004年



### FUJIGAS ウィナーズカツカレー

Winner(ウイナー)とウイナーを掛け、子どもにも人気のウイナーを重ねて  
勝利への階段を登る藤波選手をイメージしたカレー。  
2003年に続き、セクションをイメージした盛り付けとしてウイナーをトッピングに  
加え、カレーとしてのボリュームアップも行ないました。

2005年



### FUJIGAS チャンピオンカツカレー

チャンピオンの“C”とクリーンの“C”をかたどったライスが特徴のカレー。  
ライスの周りには世界選手権が開催される10ヶ国をイメージし、10個のカツを並べ  
2004年の藤波選手世界チャンピオン獲得を祝福した盛り付けとしました。  
ボリュームもさらにアップし、期間限定商品としては異例のヒット商品となりました。

2006年



### FUJIGAS “W” WIN勝つカレー

VictoryのV字をかたどったウイナーと2日目もトントン拍子(トンカツ×2ヶ)で  
勝って勝利のVサインを見せてほしい！！という思いを形にしました。  
藤波選手がまだ成し遂げていない2日連続の完全勝利=Wウインを願ったカレー。

2007年



### フジガス勝カレー 「〇」クリーン

藤波選手が、減点0の「クリーン」を目指して各セクションに挑む！！  
クリーンである減点0の数字を丸いカツで表現し、ライスの上には10個(開催国)  
の一口カツを盛ったカレー。  
食べやすい一口カツは、女性やお子様にも人気のメニューとなりました。

2008年



### フジガスシーフードカレー

シーフードの串カツ(カツを串で通す→カツ通す→勝ち通す!)をトッピングしたカレー。  
エビのような機敏な動き!(高くジャンプ!)ホタテ貝のように大きく硬い、勝利への決意!  
イカの足が丸まっていて足が地面に着かない!(減点されない)ことをイメージ。  
トライアルのファンも広がり、ルールや技術面に対する気持ちも込められたカレー。

2009年



### フジガス マウンテン カツカレー

藤波選手のフジと日本一の山、富士山をかけたカレー。山の周りにはスタミナを  
つけるためのスコッチエッグを盛り付けました。富士山をイメージした見た目と  
初めてトッピングされた玉子の印象が強く、大好評となりました。

2010年



### フジガス “勝つ” カレー

茂木産エゴマが入ったやわらか棒とんかつ! 2010年は棒(ボウ)とんかつで  
2009年のチャンピオンである強敵、トニーボウ(棒)選手にも勝つ! ことを願ったカレー。  
テイクアウトもできるため、セクションで藤波選手を応援しながら食べることができます。  
フジガス勝つカレーに藤波選手以外のライダーが登場するのは今回が初めて。  
チームメイトで良きライバル、ボウ選手にも注目しましょう。